



日本骨髄バンクの現状（平成 27 年 6 月末現在）

	5 月	6 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,424	2,327	452,845	641,926
患者登録者数	240	308	2,880	45,318
移植例数	93	113	—	18,366

■6 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,724 人
20 代	70,853 人
30 代	144,398 人
40 代	185,001 人
50 代	49,869 人

■6 月の 20 歳未満の登録者 433 人

注)平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■6 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／563 人、献血併行型集団登録会／1,686 人、集団登録会／44 人
その他／34 人

■6 月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:108 件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）1,182 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）674 件

■国際協力の現状（2015 年 4 月～2015 年 6 月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数 1 件：NMDP 1 件：累計移植数：183 件

<国内ドナー⇒海外患者>提供数 5 件：KMDP 3 件、NMDP 1 件、香港 1 件：累計提供数：247 件

1 事業報告と決算が可決承認

6 月 28 日に開催された通常評議員会において平成 26 年度事業報告案と決算案が審議され、可決承認されました。平成 26 年度決算は寄付金収入の低迷と移植件数の減少により経常収益が予算比 1 億円の減収となり、経常費用を差し引いた経常増減額は 1 億 500 万円の赤字となりました。

骨髄バンク事業を継続していくためには、収入の増加と経費削減により 7,000 万円程度の資金を捻出する必要があります。このため賛助会員の募集など寄付金収入を増やすべく取り組んでいます。加えて今年度は、緊急的に経費削減するため職員の夏期賞与を一部カットしたほか、広報資材の外部倉庫保管の運用見直しによる縮小やコーディネーターブラッシュアップ研修会の実施を見送ります。また地区普及広報委員・説明員の活動費も 3,000 円から段階的に引き下げること検討します。来年度以降は、骨髄バンクニュースのドナー宛て送付を年 1 回にする案も検討しています。

※ 平成 26 年度事業報告・決算報告は、当法人ホームページの<日本骨髄バンクについて>法人情報をご覧ください。

2 財政安定化ワーキンググループが発足

平成 26 年度決算が 1 億 500 万円の赤字となったことをふまえ、骨髄バンク事業を安定的に継続するための施策を検討することを目的として、財政安定化ワーキンググループを立ち上げました。骨髄バンクの財政安定化の視点から移植件数増加などの増収策や、節約が見込める業務改善策を検討します。

小寺良尚副理事長を座長として、第 1 回会議を 7 月 14 日に開催しました。9 月末までに全 4 回開催して、理事会に答申する予定です。



3 骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者連絡会議の開催について

「骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者連絡会議」が6月18日(木)に日本赤十字社(以下、支援機関)において開催されました。「今後の骨髄バンクドナー登録推進について」を主要議題に、前回の同会議で確認事項の進捗状況について支援機関から回答があり、献血ルーム内での骨髄バンクPR資材の掲示実態について協議しました。また、個人情報保護の体制や検体保存事業、および骨髄バンクニュースのメール配信についても情報交換しました。

4 クレジットカードでのインターネット募金に「寄付金クラウド」導入

日本骨髄バンクは、クレジットカードを使ったインターネット募金(以下、ネット募金という)をホームページで募っています。この度、さくら情報システム株式会社が提供する「寄付金クラウド」を導入しました。個人情報保護に配慮しつつ、ネット募金手続きの利便性を高めることで、骨髄バンク事業をより迅速に支援することができます。お手元にクレジットカードだけをご用意いただければ、パソコンやスマートフォン、タブレットなどから24時間年中無休で決済できます。「募金したい」という皆様の温かいお気持ちを、時間・場所を問わず手軽に実現できます。

<クレジットカード募金はこちらから>

(http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/credit.html)

5 非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は182施設です(6月末現在)。

◆非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科

- ・採取施設
- ・移植診療科
- 豊橋市民病院
- 同左 血液・腫瘍内科

新規認定施設については、当法人ホームページ>患者さんへ>移植認定病院、または、ドナー登録されている方へ>面談施設一覧をご覧ください。

6 「骨髄バンク推進全国大会 2015 in 高知」9月12日に開催

9月12日(土)12時30分から高知市の高新RKCホール(高知市本町3丁目2番15号)において「骨髄バンク推進全国大会 2015 in 高知」が開催されます。

第1部は式典、第2部では高知県の骨髄移植の実際についての講演等を予定しています。

第3部は、アトラクションや提供者による講演等を行い、16時から会場内でドナー登録会も予定しています。また、ロビーでは様々なパネル展示を行う予定です。

入場無料でどなたでも参加できます。皆様のご来場をお待ちしています。

7 SFP ダイニングが骨髄バンクを支援

6 月 16 日(火)に「鳥良」や「磯丸水産」などを手掛ける SFP ダイニング株式会社の店長会議にて骨髄バンクの講演会を行いました。200 人以上の店長や役員の方に参加いただき、骨髄移植を受けて元気になったプロスノーボーダー荒井 daze 善正さんが闘病体験を語り、いのちの大切さを伝えました。

また、6 月から全店舗にリーフレット「ギフト・オブ・ライフ」を設置し、骨髄バンクの普及啓発活動をご支援いただいています。

8 「2015 子ども霞が関見学デー」開催

7 月 29 日(水)、30 日(木)の 2 日間、子どもたちに政府の仕事を紹介するための夏休みイベント「子ども霞が関見学デー」が各府省庁で開催される予定です。厚生労働省 2 階講堂の「骨髄バンクとさい帯血バンク」合同ブースでは、子供たちがパネルクイズコーナー、骨髄・さい帯血採取体験コーナー、移植コーナーの各コーナーをスタンプラリー形式で経験し、楽しみながら造血幹細胞移植について知る企画を予定しています。

9 高知黒潮ライオンズクラブが県内の提供ドナーへ助成金

高知黒潮ライオンズクラブは、6 月 11 日(木)に「高知黒潮 LC 骨髄・末梢血幹細胞提供ドナー助成基金」を設立し、高知県内で非血縁者間の骨髄・末梢血幹細胞を提供したドナーの助成金支給を開始しました。助成金は一律 7 万円で、提供後に申請手続きを行うとドナーに支払われることとなります。民間によるドナーへの助成制度は全国初であり、当制度は高知県内市町村が制度を構築するまでの 5 年以内の予定です。

10 映画『迷宮カフェ』の上映会について

映画『迷宮カフェ』は、骨髄バンクへの理解を深める事を目的としてボランティア団体「骨髄バンク普及映画を作る会」により制作されました。骨髄移植という題材を軸に、サスペンスとユーモアを交えて紡ぎ出す、心癒されるヒューマンドラマです。出演は、関めぐみ、市川由衣、角田信朗、津川雅彦等で、本年 3 月から各地でロードショーが行われています。今後、同映画の上映会が神奈川県、広島県、香川県、島根県で予定されています。

上映会をご希望される方は、下記までご連絡をお願いします。

骨髄バンク普及映画を作る会 TEL:027-347-0085

11 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	7月21日(火) 17:30~廣瀬第2ビル地下会議室
臨時理事会	公開・一部非公開	9月18日(金) 17:30~廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

12 HLA 適合検索評価の変更に関するご意見募集終了と今後の予定<医師の方へ>

標題に関して当法人ホームページでのパブリックコメント募集にあたり、ご協力ありがとうございました。特段のご意見はありませんでしたので、10月1日より導入する予定で準備を進めてまいります。準備にあたり下記について改めてご協力をお願いします。

- 「自動検索」が廃止となります。現在「自動検索」を選択されている登録患者さんについては、9月頃より順次、移植調整部にて「マニュアル検索」に変更して参りますのでご了承くださいませようお願いいたします。

詳細は次号の MONTHLY JMDP にてお知らせします。

本件に関するご質問は新規事業部まで（TEL：03-5244-5885/E-mail:shinki@jmdp.or.jp）

13 骨髄液等の運搬を業者へ委託する場合の対応について<移植・採取施設の方へ>

平成 23 年 11 月から運搬業者（日本通運株式会社）による骨髄液等の運搬が可能となりました。今後、採取施設において骨髄液等を受け取る際に当バンク発行の「骨髄液等受領書」が必要となります。運搬業者に骨髄液等の運搬を委託される際は、依頼時に移植施設から運搬業者に対して当バンク発行の「骨髄液等受領書」を FAX してください。ご対応のほど、よろしくお願いいたします。

14 海外ドナー無料検索サイト Bone Marrow Donors Worldwide (BMDW) の利用に関するお知らせ<移植施設の方へ>

ユーザー ID とパスワードを配布された一部の移植施設において、これまでオンラインによる Bone Marrow Donors Worldwide(世界骨髄バンクドナーHLA 集計システム：BMDW) の海外バンクドナー検索が無料で利用可能でした。しかし、この度の BMDW の検索システム改定に伴い、配布しておりましたユーザー ID・パスワードが失効となります。今後、海外バンクドナーの検索が必要な場合は、骨髄バンクが代行します。詳細につきましては、別紙をご覧くださいませようお願いいたします。

15 連絡事項

<コーディネーター終了時アンケートを廃止>

平成 17 年 1 月から患者理由、ドナー理由を問わずすべての終了ドナーの方に「コーディネーター終了のお知らせ」とともに送付していた「コーディネーター終了時アンケート」を廃止しました。ドナーの一般的な心理傾向が掴めてきたことや、ドナーからのご意見や質問は終了時アンケートがなくても随時寄せられることなどが主な理由です。なお、広報上または一定の項目についての調査・集計が必要になった場合は、目的および期間限定のアンケート調査を実施する予定です。